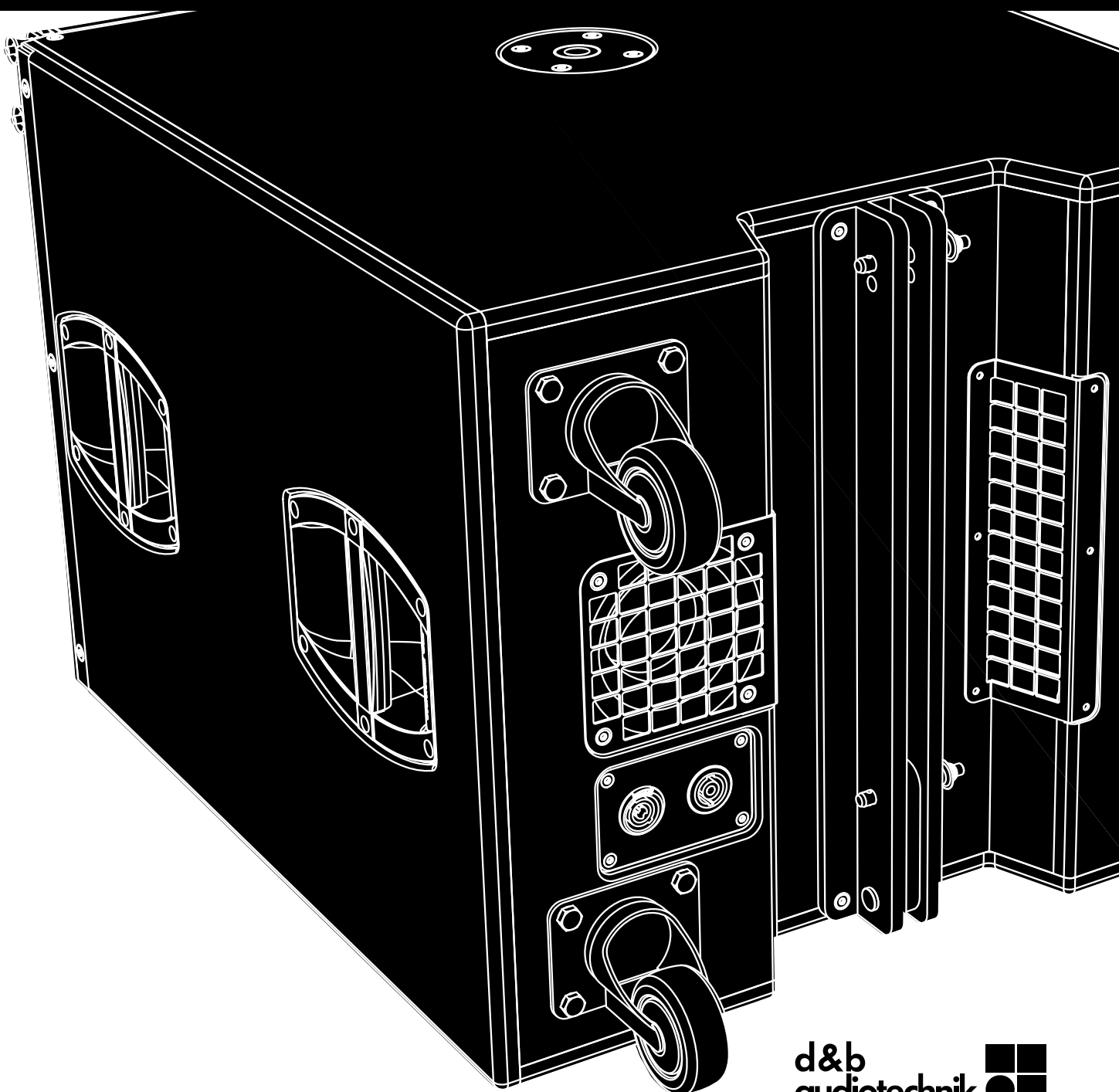


# Y

## Y-SUB マニュアル 1.3 ja



## 概説

Y-SUB マニュアル

バージョン 1.3 ja, 03/2023, D2714.JP .01

Copyright © 2023 by d&b audiotechnik GmbH & Co. KG; all rights reserved.

**本マニュアルは製品と共に保管するか、常に参照できる安全な場所に保管してください。**

本説明書の最新版が発行されていないか、d&b ウェブサイトで定期的にチェックされることをお勧めします。

本製品を再販される場合には、製品と共に本マニュアルを販売先にお渡しください。

d&b 製品を販売される時は、お客様に対して本マニュアルを使用前に十分読んでおくことを喚起してください。必要なマニュアルは製品に同梱されています。もし追加のマニュアルが必要な場合には、d&b に注文してください。

d&b audiotechnik GmbH & Co. KG  
Eugen-Adolff-Str. 134, D-71522 Backnang, Germany  
T +49-7191-9669-0, F +49-7191-95 00 00

# 目次

<b>1</b>	<b>安全上の注意</b> .....	<b>4</b>
<b>2</b>	<b>Y-SUB ラウドスピーカー</b> .....	<b>5</b>
2.1	製品説明.....	5
2.2	接続.....	6
2.3	使用.....	6
2.3.1	コントローラーの設定.....	7
2.4	技術仕様.....	7
<b>3</b>	<b>製造者宣言</b> .....	<b>8</b>
3.1	LOUDSPEAKERの EU 適合性 (CE マークについて).....	8
3.2	WEEE 宣言 (廃棄について).....	8

## 人体に傷害をもたらす可能性があります。

大音量で駆動しているラウドスピーカーのすぐそばには決して近寄らないでください。業務用ラウドスピーカーシステムは、人間の健康に害を及ぼす音圧レベルまで到達する性能を持っています。危険でないと思われる音量（約95 dBの音圧レベルSPLから）であっても、長時間さらされていると難聴の原因となる恐れがあります。

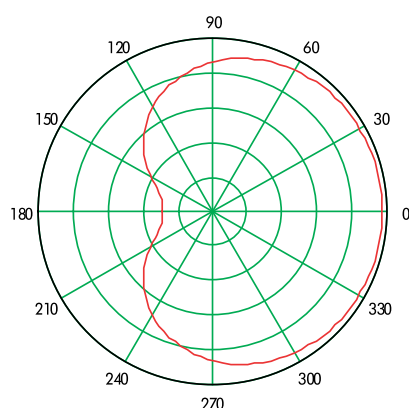
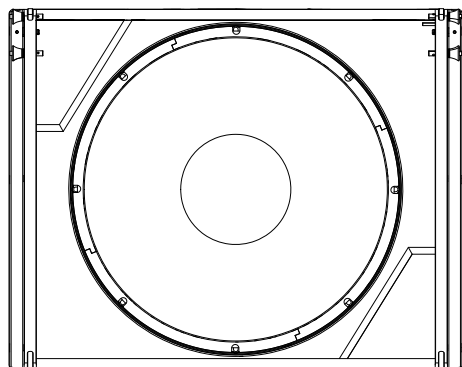
ラウドスピーカーを地面に積んだり、吊り下げたりする作業を行う時の事故を防ぐため、以下の事項に注意してください。

- ラウドスピーカーをスタックしたりスピーカースタンドを設置する時は必ず硬い床面上に設置してください。複数のシステムを積み重ねる場合は、動かないようにストラップで固定してください。
- 仮設置やスピーカーの構成設置に使用するアクセサリは d&b が試験、認証している物のみを使用します。特に弊社「組立の説明書」または「フライングシステムおよびギングマニュアル」に詳細が記載されているアクセサリの正しい使用方法および最大荷重量に注意を払って行ってください。
- 固定設備や可動設置使用で d&b 以外の付加的なハードウェアを使用して固定、結束等を行う場合には、全ての該当品が適切なサイズか、安全荷重係数を満たしているかを確認してください。ご使用になる製品の製造者からの取り扱い説明書や安全に関わるガイドラインを必ず参照してください。
- ラウドスピーカーの外観やアクセサリは、目につく磨耗や破損の兆候がないかを定期的に点検し、必要であれば交換してください。
- 機器の荷重を支持するボルトは定期的に点検を行ってください。

## 機器の故障を引き起こす恐れがあります。

ラウドスピーカーは使用していない時でも静的電磁場を常に発生します。従って、これらを設置したり、運搬したりする時にはこの磁場によって、損傷や障害を生じる恐れのあるものが機器の近くに無いことを確認してください。従ってラウドスピーカーを組立てたり、移動したりするときは、外部の磁場により欠陥や損の生じるおそれのあるものが、装置や器物の近くにないことを確認します。一般的には磁気データ媒体（フロッピーディスク、オーディオおよびビデオテープ、キャッシュカードなど）から 0.5 m (1.5 ft) の間隔があれば十分です。コンピューターやビデオモニターでは、1 m (3 ft) 以上の間隔が必要な場合もあります。

## 2 Y-SUB ラウドスピーカー



カーディオイドの拡散パターン

### 2.1 製品説明

Y-SUB は、d&bY シリーズキャビネットを 補完することを目的に設計されたコンパクトな高性能カーディオイドサブウーファーです。

Y-SUB には、2 台のネオジウム 磁性体を使用した高偏位ドライバーがカーディオイド 構成に統合されています。バスレフレックス 設計の前方向きは 18 インチドライバー、2 つのバンドパスチャンバー 設計の後方向きは 12 インチドライバーを使用しています。この配置およびチューニングによって、1 つのアンプチャンネルを使用したカーディオイド 拡散パターンが可能になります。

周波数特性は 39 Hz から 140/110 Hz です。

キャビネットは 船舶用合板製で、耐衝撃・耐天候塗装仕上げが施されており、ハンドル 2 個が取り付けられています。ラウドスピーカーキャビネットの 前面は、音響透過性のある発泡フォームを裏側に貼りつけた頑丈なメタルグリルで保護されています。両側のパネルには 2 個のハンドルが、背面パネルには 4 個の重量キャスターが取り付けられています。上面パネルの M20 フランジネジ穴には、TOP キャビネット 配置用としてラウドスピーカースタンドまたは Z5396 ベースプレート/スタッキングアダプター を取り付けすることができます。

### カーディオイド拡散

カーディオイドの 拡散によって、システム 後方への不必要なエネルギーを抑制することで低域の残響音場における反射を減少し、低域再生の正確性を劇的に向上することができます。サブウーファーは 単独での使用はもちろん、スタックや複数のキャビネットを 並べたり、側壁近くに設置することも可能です。(キャビネット間、側壁との距離を最小間隔: 60 cm (2 ft) 以上開けてください。) キャビネットを壁の前に設置するとき、背面のキャスターによって 最小間隔が確保されます。

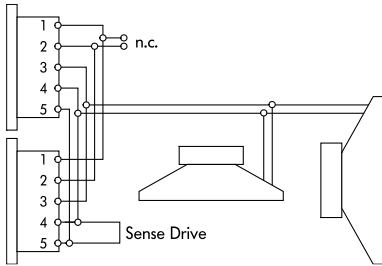
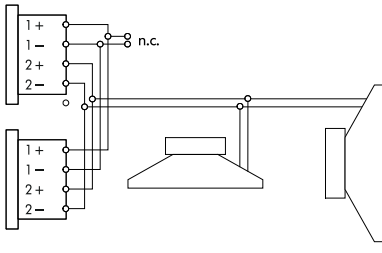
### Y シリーズのリギングコンポーネントとアレイ

キャビネットは、必要な時に引き出して使用するキャビネット前部両側にあるリギング金具とキャビネット背面の中央にある金具で機械的に連結することができます。必要となるリギングコンポーネントは全てキャビネットに内蔵されており、使用時に開いて、または引き出して使用します。リギングコンポーネントは、グランドスタック用として 接続および Y-SUB キャビネットの固定にも使用します。

Y シリーズのリギングコンポーネントについての 詳細は、Y フライイングフレームに 付属されている Y シリーズリギングマニュアルに 記載されています。

Y アレイの設計および計画についての 詳細は、Y フライイングフレームに 同様に付属されている技術情報「TI 385 d&b Line array design, ArrayCalc」に記載されています。

d&b ArrayCalc シミュレーションソフトウェアは、[www.dbaudio.com](http://www.dbaudio.com) の d&b ウェブサイトでダウンロード可能です。



NLT4 F/M/NL4 M および EP5 コネクターの接続

## 2.2 接続

キャビネットには一対の NLT4 F/M コネクタが取り付けられています。双方のコネクタの全 4 本のピンは並列に接続されています。Y-SUB は 2+/2- のピン配列を使用します。1+/1- ピンは Y8 または Y12 ラウドスピーカー用です。オス型コネクタをインプットとして使用すれば、メス型コネクタと第 2 キャビネットを直接接続することができます。

同キャビネットは、オプションで NL4 M または EP5 コネクタを選択することも可能です。

コネクタオプションのピン配列は下の表に示しています。

NLT4 F/M NL4 M	1+	1-	2+	2-	なし
EP5	1	2	3	4	5 (SenseDrive フロント)

### d&b LoadMatch

LoadMatch 機能によって、D80 アンプをはじめとする各アンプ上における使用中のラウドスピーカーケーブルの特性に応じた電気補償が、センスワイヤーを追加しなくても可能となります。このため、使用中のコネクタタイプに関係なくラウドスピーカー用として LoadMatch を使用することができます。

### d&b SenseDrive

D12 アンプ内の SenseDrive は、使用中にあるラウドスピーカーケーブルの特性に応じた電気補償を可能としています。SenseDrive には、センスワイヤーを追加する必要があります。このため、ラウドスピーカー用 SenseDrive には必ず EP5 コネクタおよび 5 ワイヤケーブルを装備することが必要です。

**メモ:** D12 を "Mix TOP/SUB モード" でご使用になる場合には、SenseDrive 機能は出力 B コネクタでのみ使用できます。

## 2.3 使用

### 注意!

d&b ラウドスピーカーは、正しく設定された d&b アンプのみをご使用ください。他の使用方法ではラウドスピーカーのコンポーネントに損傷を与える恐れがあります。

### 使用可能な d&b アンプ:

D80|D40|D12|D20|D6.

用途	セットアップ	チャンネル/キャビネット
Y-SUB	Y-SUB	2

ここで使用可能なアンプ上では、Dual Channel または Mix TOP/SUB モードのコントローラー設定が適切です。

### 2.3.1 コントローラーの設定

音響調整には、100 Hz 機能が選択できます。

#### 100 Hz 回路

100 Hz 回路が選択されている場合には、システムの動作周波数の上限が 140 Hz から 110 Hz に減少されます。

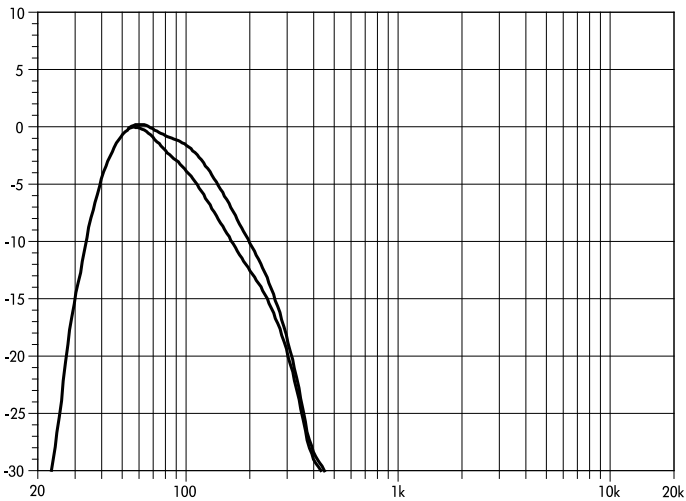
### 2.4 技術仕様

#### Y-SUB システムデータ

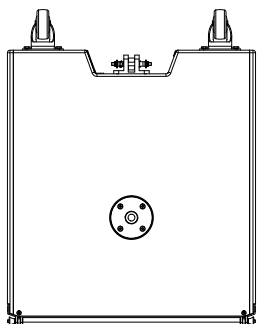
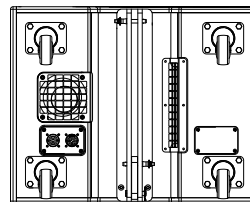
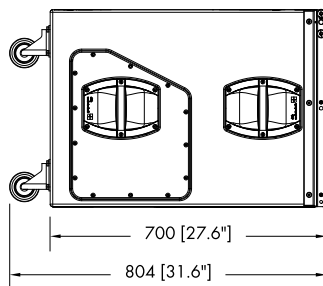
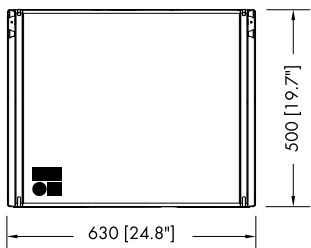
周波数特性 (-5 dB スタンダード)	.....	39 Hz - 140 Hz
周波数特性 (-5 dB100 Hz モード)	.....	39 Hz - 110 Hz
最大音圧レベル(1 m、無響音場)	.....	
および D6	.....	128 dB
および D12/D20	.....	131 dB
および D80/D40	.....	134 dB
	.....	(最大 SPL ピーク、テスト信号 CF4 のピンクノイズ)

#### Y-SUB ラウドスピーカー

公称インピーダンス	.....	8 Ω
許容入力 (RMS/ピーク 10 ms)	.....	600/2400 W
コンポーネント	.....	1 x 18 インチドライバー
	.....	1 x 12 インチドライバー
接続	.....	2 x NLT4 F/M
	.....	2 x NL4 M または EP5 (オプション)
ピン配列	.....	NLT4 F/M および NL4 M:2+ / 2-
	.....	EP5:3: + / 4: -
重量	.....	52 kg (115 lb)



Y-SUB 周波数特性 標準、100 Hz モード



Y-SUB キャビネット寸法 mm [インチ]



### 3.1 ラウドスピーカーの EU 適合性 (CE マークについて)

この宣言は、以下の製品に適用されます。

#### **d&b Z0709 Y-SUB ラウドスピーカー、**

製造者 d&b audiotechnik GmbH & Co. KG

この番号で始まる製品バージョンの全てが初期仕様に一致していますが、後に設計または電気技術的変更が行われないことを前提としています。

弊社は、本製品が全て関係条項の EC 指令条項に準拠していることを宣言いたします。

この宣言に関わる詳細な情報は、d&b に注文頂くかウェブサイト [www.dbaudio.com](http://www.dbaudio.com) からダウンロードすることもできます。

### 3.2 WEEE 宣言 (廃棄について)

電気及び電子機器を廃棄する際は、必ず他のゴミと分別してください。

本機器を廃棄する時には、お住まいの国や地域の関連する法律や条例に従ってください。廃棄の際に不明な点がある時は、お買い上げの販売店、または d&b audiotechnik までお問い合わせください。

WEEE-Reg. -Nr. DE: 13421928



